

# かくだ 市議会だより

第236号

令和8年5月1日



## 【今月号の表紙】

### 『桜づつみライトアップ』

今年から始まった阿武隈川河川敷での「桜づつみのライトアップ」。満開の桜が夜に照らされて、いつもとは違う幻想的な景色が広がっていました。

≪撮影≫ 渡邊 文彌 さん

撮影日：令和8年4月8日

場 所：阿武隈川河川敷

### 第436回定例会

■概要・質疑	2	■会派代表質問	5
■議案審議結果	3	■予算審査特別委員会	6・7
■施政方針	4	■一般質問	8～12

### 角田市議会から

■議員研修会・議会だよりモニター委嘱状交付式	13
■行政視察報告	14

### 表紙写真募集

6月19日まで

詳細はこちら▶



### 議会だより アンケート

回答はこちら▶



審議結果一覧

〔○〕は賛成、〔×〕は反対、〔-〕は退席又は欠席 議長（馬場道晴議員）は採決に加わりません。

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心		かくだ未来倶楽部		会派翔誠		日本共産党 角田市議員		無党派 (会派所属しない議員)	
				菊地利衛	渡邊誠	戸村眞喜夫	武藤広一	星隆悦	菅野マホ	湯村勇	瀧口聖人	齋藤強	日下七郎
	議案第3号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(令和7年度角田市一般会計補正予算(第9号))	承認(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	令和7年度角田市一般会計補正予算(第10号)	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第5号	令和7年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第6号	令和7年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	令和7年度角田市介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	令和7年度角田市産業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第9号	令和7年度角田市水道事業会計補正予算(第5号)	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	令和7年度角田市下水道事業会計補正予算(第5号)	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	角田市行政手続条例の一部改正について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	職員定数条例の一部改正について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市	議案第14号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第15号	角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第16号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長	議案第18号	角田市市税条例及び角田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	角田市森林等における火入れの規制に関する条例の一部改正について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	角田市道路占用料条例等の一部改正について	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	令和8年度角田市一般会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第22号	令和8年度角田市国民健康保険事業特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第23号	令和8年度角田市後期高齢者医療特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第24号	令和8年度角田市介護保険特別会計予算	可決(12:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議案第25号	令和8年度角田市産業用地造成事業特別会計予算	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	令和8年度角田市東根財産区特別会計予算	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第27号	令和8年度角田市水道事業会計予算	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	令和8年度角田市下水道事業会計予算	可決(14:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任(13:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

2月  
第436回  
定例会

第436回定例会は2月17日から3月12日までの24日間の会期で開かれました。  
市長から提案のあった令和8年度予算や条例の改正などの議案26件を審議し、原案のとおり可決・承認、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問を適任と答申しました。

また、令和8年度施政方針に対する会派代表質問や9人の議員が行った一般質問では、白熱した論戦を繰り広げました。

**人権擁護委員の候補者の推薦**

《新任》森山 旭  
任期 令和8年7月1日(3年間)

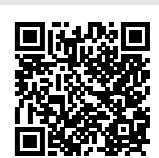
議案第15号

角田市議会の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正

議員報酬について、国の措置に準拠し所要の改正を行うもの。(令和8年4月1日施行)

区分	改正前	改正後
議長	45万3千円	46万6千円
副議長	38万1千円	39万2千円
議員	35万7千円	36万7千円

令和7年度補正予算の詳細はこちら



議案第3号



議案第4号から議案第10号まで

**問** 地域で策定するクラスター計画の内容をスター計画の内容とするもの。  
地域で策定するクラスター計画に位置付けた中心的な経営体などが行う施設整備等の導入を支援するもの。

**答** 仙南畜産クラスター協議会が定める地域畜産収益向上を図るための計画で、活用とする対策内容・構成員・役割・目的・取り組み内容・行動計画・中心的な経営体の概要などを定めている。なお、構成員は、仙南地区の市町、みやぎ仙南農業協同組合、肥育牛部会、和牛改良組合の協議会、酪農部会、大河原家畜保

**問** 仙南畜産クラスター協議会が定める地域畜産収益向上を図るための計画で、活用とする対策内容・構成員・役割・目的・取り組み内容・行動計画・中心的な経営体の概要などを定めている。なお、構成員は、仙南地区の市町、みやぎ仙南農業協同組合、肥育牛部会、和牛改良組合の協議会、酪農部会、大河原家畜保

**問** 8級制の導入について、説明を求めます。  
行政ニーズの複雑多様化に対応する部長級職員への処遇改善(8級制の導入)と55歳を超える職員の昇給停止などを行うため、所要の改正を行うもの。(令和8年4月1日施行)

**答** 激甚化・頻発化する災害対応や行政ニーズの複雑多様化により、部長級職員には能力の深化が求められる。国は、令和7年度に給与制度を改定し、職務や職責をより重視した新たな俸給体制を導入し、管理監督職の職員層の位置付けを7級から8級にした。角田市も業務負担や責任に見合った適正な格付けを行い、トップマネジメントの活性化を図っていく。

**問** 55歳で昇給停止する理由を問う。  
角田市の人事制度は、国に準拠して構築・運用している。国では、法律の改正により、すでに55歳(労務職は57歳)を超える標準の勤務成績の職員は、昇給停止している。また、県内自治体においても昇給停止するものである。

**答** 国では、世代間の給与配分を適正化する観点から、原則55歳を超える職員の昇給停止を講じている。

**問** 仙南畜産クラスター協議会が定める地域畜産収益向上を図るための計画で、活用とする対策内容・構成員・役割・目的・取り組み内容・行動計画・中心的な経営体の概要などを定めている。なお、構成員は、仙南地区の市町、みやぎ仙南農業協同組合、肥育牛部会、和牛改良組合の協議会、酪農部会、大河原家畜保

**答** 平成27年に設立し、畜産農家からの事業申請に伴い、関係団体との調整、補助金の申請手続き、施設や機械を導入するための工程管理を行っている。事務局はみやぎ仙南農業協同組合と酪農部会、大河原家畜保

**問** 今回の改正は、角田市議会議員の議員報酬を人事院勧告に準じて引き上げるものであり、物価や燃料費の高騰など社会情勢に適応した報酬の確保である。また、民間企業との給与水準を少しでも埋めていくことで議員のなり手不足を少しでも解消していくという理由から賛成する。

**反対討論**  
日下七郎

**賛成討論**  
齋藤 強

令和8年度 施政方針

施政方針とは、市長が今後1年間の行政運営の基本理念、重要施策、予算案などの重点的に取り組む内容を表明することです。

安心・安全

- 地域への予防消防・地域防災力の向上と計画的な整備の充実・施設の整備
防災体制の整備と地区防災計画作成の支援による地域防災力の向上
健康増進・食育推進・自死対策の一体的な推進
小児科誘致と地域医療に関する施策について、持続的かつ安定的な医療提供体制の確保のための検討と準備
子ども医療費・保育料・学校給食費の完全無償化の継続
子どもの居場所づくりの推進
第8期角田市障害福祉計画・第4期角田市障害児福祉計画と認知症施策推進計画の策定
産業振興・就労
農業所得の向上と経営の安定に向けた主食用米と園芸作物などの複合経営への取り組みを推進
果樹苗木購入事業費補助金の創設

- 積極的に狩猟免許を取得できる環境づくり
令和元年東日本台風の浸水被害を踏まえ、排水機能強化の実現に向けた国・県への要望活動の継続
目黒区・角田市・島田生産森林組合の協定に基づく森林整備事業の推進
ポケモン天文台とまちの賑わい創出事業実行委員会の事業を通して、地域活性化と地域経済の好循環を図る
道の駅かくだのりニューアルに伴う指定管理者や出荷者との連携強化
まちづくり
地区計画策定の支援
地域おこし協力隊の活動支援と新たな隊員の受け入れ体制構築
男女共同参画計画(第3次)の策定
教育・文化・スポーツ
小学校屋内運動場への空調設備の整

- 備と中学校の再編・統合に伴う新中学校整備基本計画の策定
ひとり1台タブレット端末の更新
休日の中学校部活動における全種目地域移行の推進
都市基盤・生活環境
防災・減災に係る大沼野田前線・南町斗蔵線、駅前花鳥線の整備
デマンド型乗合タクシーと二次交通確保対策の再検討
空家等対策計画策定の実態調査の実施
スマートエコライフ推進事業の継続とLED照明器具の補助額増加
行財政運営
まちづくりカフェや若者会議を実施し、広聴活動の充実を図る
第6次長期総合計画の後期基本計画(令和9~13年度)の策定

角田市第6次長期総合計画 (計画期間:令和4~13年度の10年間)
角田市でどのようなまちづくりをするのか、そのためには何が必要なのかをまとめた角田市のまちづくりに関する最上位の計画です。
具体的な取組み【分野別施策】
市民力 地域共生 地域資源フル活用
市民力咲き誇る角田市

会派代表質問

議員▼角田市が「子育てしやすいまち日本一」と言える独自の施策は何か。
市長▼他団体に先駆けて、子ども医療費や保育料などの無償化を実施した。
議員▼無償化はすでに国で行っている。1人出産するごとに200万円を3年間支給という市民案がある。それだけ突飛なことをやらないと日本一にならないと思うが。
市長▼幸せ度の高い子育て環境の充実を含め、今後はやっていきたい。
議員▼「令和7年度、長期総合計画の行政評価において、『おおむね順調』の評価をいただいております。」とあるが。
市長▼評価結果については、市のホームページ上に公開している。
議員▼令和7年度は宇宙関連の新たな活動がありながらも記載がない、また8年度にも計画に入っ

ていない理由を問う。
市長▼今、宇宙産業の誘致ができないかと調査を始めたところだ。
議員▼社会の情勢や市民ニーズで修正をしていくべき。5年前につくった計画を粛々と進めていくだけでは、角田市はどんどん遅れていくのでは。
市長▼後期計画の中では、そういったことも取り入れていきたい。
議員▼みやぎ県南中核病院について、昨年10月に発足した「仙南医療圏地域医療推進協議会」における、救急医療分の負担などについて角田市の考えを問う。
市長▼救急医療負担金については、負担が非常に大きくなっているため、近隣市町においても応分の負担をいただきたい。
議員▼角田市には小児科がない。企業長より市長から提案があれば協議会

で話し合うことも可能だと聞いているので、「中核病院傘下の角田診療所」の提案をしてほしい。
市長▼既存医療機関にはない診療科目の設置など、可能性を探っていきたい。
議員▼公共交通について、「デマンド型乗合タクシー」及び「二次交通確保対策」につきまして、(中略)運行の見直しを進める」と言及したが、どのような見直しをするのか。
市長▼令和8年度は、実証運行に向けた準備・運行計画の作成を進めたい。
議員▼デマンドタクシー運行委託料が、約19年間で上がらなかったが、今回は大きな改善があった。経済状況を鑑みて配慮をお願いしたい。また市民からの要望が多い土日の運行をお願いしたい。
市長▼土日運行等については今後対応できるように協議をしていきたい。

議員▼人口減少・少子高齢化の加速、物価高騰、激甚化する自然災害への対応など多くの課題に対し、小規模自治体である本市だからこそ可能な機動力とは何か。
市長▼本市の組織の規模の小ささを生かした意思決定のスピード、また各部署間の連携が取りやすく、情報共有が円滑に行いやすいといった点を生かしたい。
議員▼小児科誘致の現状を問う。
市長▼現状は応募がない状況である。今後については、情報発信力のある民間事業者よりご協力をいただき、全国的に周知を図るとともに、地域医療体制整備等連絡会の中でも議論していきたい。
議員▼直近の未利用公有地売却の実績を問う。
市長▼令和4年度は2件、1048万1660円、

令和5年度は5件、2917万2054円、令和6年度は2件、174万2144円、令和7年度は現時点で、5件、89万2508円である。
議員▼角田市の認知症施策推進計画について問う。
市長▼基本法に示された『新しい認知症観』、認知症になったら何もできなくなるということではなく、認知症になってからも住み慣れた地域で仲間たちとつながりながら希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考えを踏まえて、認知症の人の声を聞きながら今までの取り組みを見直し、さらに、新たな取り組みを計画として整理することで認知症施策を体系的に推進したい。
議員▼国民年金について「老後の市民生活の重要なセーフティネットであり、その制度の普及

と円滑な事務処理を行ってまいります」とあるが、具体的な内容を問う。
市長▼国民年金を受給するためには国民年金に加入し保険料を納める必要がある。大河原年金事務所と連携し、広報かくだに「シリーズ国民年金」コーナーを設けてさまざまな情報発信をしている。
議員▼「昨年の米価は上昇したものの国内での米の消費は減少を続け、国際情勢の変化の影響等による農業生産資材の高騰が続いております」とあるが、どのように推進していくのか。
市長▼今後の米価の動きは非常に不透明であるため、引き続き、収益性の高い園芸作物や麦、大豆、飼料作物などの作付けを推進し、複合経営によって経営リスクの分散と経営の安定を図っていき

会派代表質問
かくだ未来倶楽部
菅野マホ

映像配信
QRコード

会派翔誠
湯村 勇

映像配信
QRコード

会派代表質問とは、会派に所属する議員が、会派を代表して質問することです。角田市議会では、「施政方針(2月定例会)」と「市長の所信表明」に対して行われ、第436回定例会では、2つの会派が施政方針に対する会派代表質問を行いました。
角田市議会雑学
会派とは、施政について同じ考えや意見を持つ議員が集まり、結成したグループのことです。角田市議会では、2人以上で会派を結成することができ、現在4つの会派があります。

Table with 2 columns: 会派名, 所属議員名. Rows include 会派一心 (菊地 利衛, 渡邊 誠, 戸村眞喜夫), かくだ未来倶楽部 (武藤 広一, 星 隆悦, 菅野 マホ), 会派翔誠 (湯村 勇, 瀧口 聖人, 齋藤 強), 日本共産党 角田市議団 (日下 七郎, 八島 定雄)

予算審査特別委員会での質疑

一般会計 総務費

投票所の再編について

問 市内の投票所の再編を検討しているとのことだが。
答 現在、市内の投票所は26カ所あるが、有権者数にかなり差が生じている状況にある。...

一般会計 農林業費

果樹苗木購入事業費補助金

問 梅、日本梨など果樹苗木の購入に要する経費の補助について、事業費全体の積算根拠の説明を求める。
答 角田市内の果樹の普及促進と、農地活用を図るため、苗木購入に要した費用の2分の1を補助する...

一般会計 商工費

まちの賑わい創出事業実行委員会負担金

問 実行委員会は、どのような事業を行うのか。
答 令和8年夏のポケモン天文台開催期間中には多くの来訪者が見込まれるため、本市の認知度向上のほか地域経済の好循環などを図る必要があることから、4つの柱を軸に事業を展開していく。

- 【認知度の向上】 ホームページ・SNSなどによる情報の発信、街路灯へのフラッグの設置
【移動の円滑化】 周遊促進に係る交通手段の整備、施設案内機能の強化
【滞在時間の長期化】 施設および商店街等への周遊促進、体験・展示コンテンツの強化
【地域経済の好循環】 市内事業者の限定コラボ商品の開発助成、販売促進グッズの作製

介護保険特別会計 地域支援事業費

お買い物ミニデイ事業

問 対象者（要支援1、要支援2、基本チェックリスト判定による総合事業対象者）は、グループを構成するとあるが、詳細説明を求める。
答 高齢者の日常生活における困りごとに「買い物」が上位にあることを踏まえ、在宅の高齢者を自宅からスーパーマーケットまで送迎する支援に併せて、閉じこもり予防のための健康づくりやレクリエーションなどを行う。...

申込先 地域包括支援センター
利用頻度 週1回（曜日固定）
利用料金 1回500円程度
開始時期 7月以降（予定）

本会議での討論

賛成

瀧口聖人



歳入は、税収などの確保を図るほか、引き続きふるさと納税事業の推進や未利用公有資産売却の推進、各種特定目的基金、適切な市債の活用により財源を確保するとともに、財政調整基金から7億円を取り崩して収支の均衡を図っている。...

反対

日下七郎



一般質問で、市長の「当初予算の編成にあたっての基本的な考え方」に、国の令和8年度予算編成の内容があり、所見を問うと、市長の答弁が国の予算編成の所見としては不十分と受け止めた。...

令和8年度 角田市一般会計予算 166億8,300万円

(前年度比1億500万円減 ▲0.6%)

一般会計・特別会計・企業会計 総額276億9,850万円 (前年度比6,596万円増 0.2%)

第436回月定例会では、全議員で構成する予算審査特別委員会（湯村勇委員長、日下七郎副委員長）を設置し、令和8年度予算を審査しました。

一般会計では、防災・減災構想に掲げる駅前花島線道路整備などの予算措置をしているほか、総合保健福祉センターや障害者就労支援施設の大規模改修が皆減となり、令和8年度当初予算は、前年度と比較して0.6%の減少となる予算が示され、本会議での表決の結果、全ての予算の議案を可決しました。

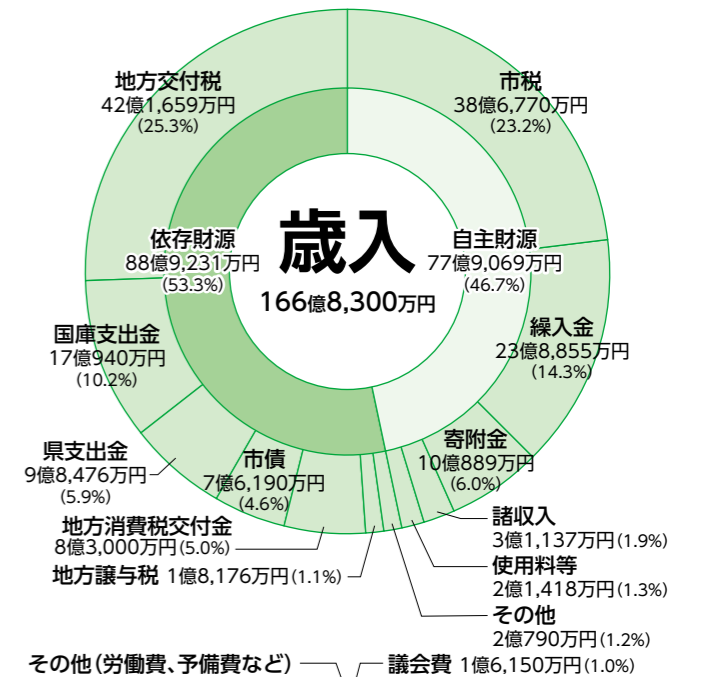
用語解説 「一般会計」と「特別会計」と「企業会計」

「一般会計」は、市税や国の交付税などの収入をもとに、福祉や教育、道路の整備などの市の基本的な行政サービスを行うための会計です。
「特別会計」は、特定の収入をもとに、特定の事業を行う会計のことで、角田市には5つの特別会計があります。
「企業会計」は、地方公営企業法を適用し、独立採算で運営される事業で、角田市には2つの企業会計があります。



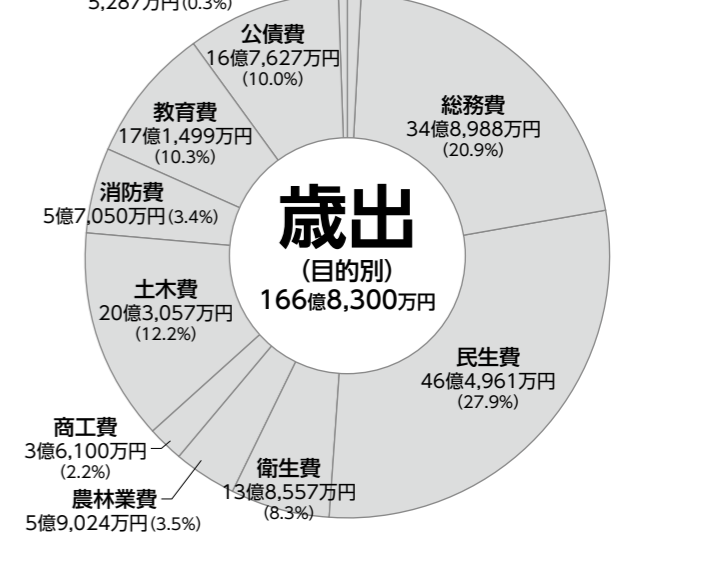
令和8年度予算の概要はこちら

一般会計の歳入・歳出予算の内訳



角田市の令和8年度当初予算の規模

Table comparing budget totals for Heisei 8 and Heisei 7. Heisei 8: Total 276.985 billion yen. Heisei 7: Total 276.325 billion yen. Breakdown by account type: Enterprise, Special, and General.



一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行状況や将来の考えなどを質すことです。質問は一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。質問した議員ごとに要約してお知らせします。その他の質問の要約は掲載されておりませんので、各議員名の下の二次元コードを読み込んで、録画の配信をご視聴ください。

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
菊地 利衛	元気な角田市に向けた布石となる令和8年度に	8
柄目 孝治	ふるさと納税制度の運用について ツキノワグマ対策に関して	9
齋藤 克敏	全ての子ども「学びたい」に応じる新中学校整備を ひとり親世帯への支援拡充について	9
瀧口 聖人	「仙南・仙塩広域水道事業」で、本市が負担する「供給料金」と上水道の有収率について	10
星 隆悦	スポーツツーリズムとくたくだスポーツビレッジについて その他の質問 令和8年度施政方針について	10
日下 七郎	令和8年度施政方針及び角田市予算案に関する説明要旨に関することについて	11
八島 定雄	(仮称)角田市終活支援条例の制定について 学校カスターマー・ハラスメント(学校カスハラ)への対応策について すい臓がん早期発見のための「腫瘍マーカー血液検査」導入について	11
戸村員喜夫	令和8年度から実施する空家等対策事業について	12
齋藤 強	地域の医療・介護について 体育館への空調設備導入について	12



ふるさと納税制度の運用について

柄目 孝治



ツキノワグマ対策に関して

議員▼最も重要な点は、「身の安全を守る」ことにあると思料するが、特に登下校スクールバス待機所に行き来する児童生徒の安全確保は、最重要課題と思料しているがこの点に特化して改めて市長、教育長に見解を問う。  
市長▼確かに他力本願的な制度ではあるが自力本願へ変えていくことを試みたいと思っており、新しいふるさと納税の形を模索したいと考えている。企業を応援する自治体を応援するという寄付者と角田市のつながりを強くするということの実現に向けていき、地域産業の活性化に投資をしていくという仕組みが必要なのではないかと思っている。

が重要であると認識をしており、クマ鈴や笛の携帯のほかに保護者による送迎依頼を行うなどの安全対策を講じていきたい。議員▼保護者をはじめ地域住民、行政が一致団結英知を絞って、朝夕の送迎体制の対処法を確立して、児童生徒を守ることが最優先課題だと考え、これこそが市長の言われる「市民力」「地域力」じゃないか。そして、これが大きな「市政力」「自治力」に発展するものと確信しているが、再度見解を問う。  
市長▼いろいろな事例を紹介いただいたので、関係団体と協議しながら、実効性のあるものを見いだして対応していきたい。まさに「市民力」結果事案だと思つので、我々は先頭に立っていかなくてはいけないという認識を強く持っている。



元気な角田市に向けた布石となる令和8年度に

菊地 利衛



○保険・医療福祉について  
議員▼令和8年度施政方針について質問する。医療の充実、特に小児科の誘致についてどんな対策を講じるか。  
市長▼情報発信力のある民間事業者の協力を受ける体制を構築する。  
議員▼市内医療供給体制については、人口減少が加速している中、仙南2市7町の医療体制の中の角田市の医療の位置付けを考えるべきではないか。  
市長▼同感だ。仙南医療圏で課題として共有し、解決に向けた仕組みづくりが必要だと考える。  
○産業振興・就労について  
議員▼農業振興のためAIを活用した大型ハウス園芸の研究をすべきだ。  
市長▼研究していきたい。  
議員▼商店街の活性化に向けて10年、20年先を見据えたビジョンを策定するところがあるが、活気ある商

店街のために今出来ることからやるべきだ。  
市長▼やっていきたい。  
議員▼高校新卒者に対する「企業ガイダンス」を、角田市出身の大学生や社会人も対象にしてUターン、イターンなどに結びつけてはどうか。  
市長▼工夫していきたい。  
議員▼観光客など交流人口、関係人口の拡大のために、コスモハウスを核にした市街地全体を宇宙公園とする検討をすべき。  
市長▼レガシーとしてやらなければいけない。  
○まちづくりについて  
議員▼「市民力を活かしたまちづくり」と言っているが、施政方針において実際に生活の場を守り市民力の根幹である行政区に関する記載がない。  
市長▼地区の皆さんの声を拾い上げていく。  
議員▼行政区の中には、人口減少や高齢化によっ

て従前の機能が失われているところがある。組織のスリム化が必要である。  
市長▼若者の活動の横展開が起爆剤となりうるのだからしっかりと対応する。  
○教育・文化・スポーツについて  
議員▼楽天イーグルス2軍拠点誘致は、「地域経済」や「まちづくり」に大いに貢献すると思う。  
市長▼現在その可能性を探っている。  
○都市基盤・生活環境について  
議員▼市外からの移住者に対し支援制度を設けるとしているが、市内の若い世代の流出を抑制する対策が重要だ。  
市長▼今回は移住してくる世帯への支援をする。  
議員▼「責任ある積極財政」が必要なのは国ではなく人口減少に苦しむ地方自治体だ。  
市長▼思いは一緒だ。



全ての子ども「学びたい」に応じる新中学校整備を

齋藤 克敏



議員▼新中学校整備を検討する際に、子どもの意見を反映した「通いたくなる学校づくり」を進める必要がある。新中学校整備の検討メンバーは、教育長▼学校適正規模検討委員会にて整備基本計画の策定を進める過程で、今後中学校の生徒へ意見聴取等を行う予定。8月頃の計画策定を目指す。  
議員▼どんな学校にするか子どもたちが考え実現してこそ、「通いたくなる学校」になる。子どもたちの意見を反映する考えはあるか。  
教育長▼中学校生徒代表に意見聴取し、計画に反映する予定。整備基本計画に続く基本設計は、より多くの生徒などから広く意見を聴取するため参加型ワークショップを開催予定。  
議員▼学校の代表生徒だけでなく、不登校や課題を抱えている生徒、高校生や小学生からも幅広く

意見聴取をすべき。  
教育長▼新中学校の生徒は生徒たちなので、意見を聞くということは、主権者教育の観点からも重要だと認識している。課題を抱えている生徒の意見も大切だと思つので、少数意見も聞けるような形を模索したい。  
ひとり親世帯への支援拡充について  
議員▼日本におけるひとり親世帯の貧困率は44.5%であり欧米各国と比較すると高い水準である。ひとり親世帯は経済的困窮だけではなく、時間、精神、情報の全てが不足する四重苦の状態にある。親の病気、子どもの不登校などに直面した場合、一気に生活が破綻してしまうおそれがある。第435回臨時会において、物価高対応子育て応援手当支給事業が可決されたが、全てのひとり親世帯に対し、市独自で

らに手当を支給すべきかと考えるが。  
市長▼限られた財源のためご理解いただきたい。  
議員▼ひとり親世帯の負担軽減支援策として、一時保育や子どもの送迎サービスを利用できるクーポン配布等が有効である。  
市長▼良い制度だが、対応できる団体などのキャパシティの問題などもあるため、可能か考慮しながら実現していく必要がある。  
議員▼ひとり親世帯への支援拡充は、子どもの貧困を食い止める最大の急所である。より一層きめ細やかな支援が必要かと考えるが市長の見解は。  
市長▼重要な課題であると認識している。相対的貧困等についても今後把握し、よりきめ細やかな支援ができるよう対応できればと考える。



「仙南・仙塩広域水道事業」で、本市が負担する「供給料金」と上水道の有収率について

瀧口聖人



議員▼宮城県七ヶ宿町の七ヶ宿ダムを水源に仙南や仙塩の17市町に供給する「仙南・仙塩広域水道事業」で、各市町が負担する「供給料金」を見直す議論が続いている。人口減少を背景に、現在の需給水量と約50年前に見込んだ計画水量に大きな開きがあり、料金設定が実態に見合っていない。県は2026年度中に結論を出す方針で、17市町が足並みそろえて納得できる着地点を探っている。新たな負担割合は2029年度に予定する供給料金の改定に反映される方針だが、「仙南・仙塩広域水道事業」で、本市が負担する「供給料金」をどのように考えているのかを問う。

市長▼今後の供給単価の改定は、本市の水道料金に直接影響を及ぼす重大な問題である。供給単価の算定根拠となる新たな負担割合については、17市町の負担が公平かつ平等なものであるとともに、市民の皆様が納得できる内容でなければならぬと考えている。

議員▼令和6年度に衛生を活用した漏水調査を宮城県の呼びかけにより共同で実施され、その結果19カ所の漏水箇所を発見することができたと報告があった。今後も衛生を活用した水道管路の漏水調査を継続していくのか。

市長▼本市の水道水有収率は年々低下しているが、その原因は何なのか。

議員▼本市の水道水有収率は年々低下しているが、その原因は何なのか。



令和8年度施政方針及び角田市予算案に関する説明要旨について

日下七郎



議員▼「角田市第6次長期総合計画」は、令和8年度をもって前期計画の期間が終了し、後期計画の策定の段階を迎えます。「この文中の「角田市第6次長期総合計画」は、角田市長期総合計画第3条の規定に基づいて、地方分権改革推進計画に基づく義務付けの廃止に伴い、地方自治法（以下「法」という。）が改正され、市町村の基本構想に関する規定（改正前法第2条第4項）が削除された。法の改正後は、法第96条第2項の規定に基づき、個々の市町村がその自主的な判断により、引き続き現行の基本構想について議会の議決を経て策定することは可能である。」とのこと。よって、角田市長期総合計画条例は、瑕疵のある条例と判断するが、市長の所見を問う。

市長▼議決事項を定める法第96条では、同条第1項で、「条例を設け、又は改廃すること」と規定されており、全ての条例の制定・改廃については議決事件として扱わなければならない。したがって、この規定に基づき、角田市長期総合計画条例を令和元年8月、第398回定例会議案第50号として提案し、可決されているため、瑕疵のある条例ではないと認識している。また、角田市長期総合計画基本構想は、令和4年2月、第416回定例会議案第26号として提案をし、可決されているため、議会への提案は怠っていない。

議員▼市長答弁による議決事項を定める法第96条第1項第1号の規定に基づき、角田市長期総合計画条例を議会に提案し、可決とあるが、私

が前述したように、改正前の法第2条第4項が削除後は、法第96条第1項の議決事項の対象外となるのに、市長答弁が、法第96条第1項「条例を設け又は改廃すること」の規定に基づき、角田市長期総合計画条例を提案し、可決とは誤りで、法第96条第2項の規定に基づく議決事件（基本構想）となる。角田市長期総合計画条例は、法第96条第2項の議決事項（基本構想）のある条例と判断し、再度問う。

議員▼デジタル課長▼基本構想に関して、法第96条第2項に基づく議決事件とするため、令和元年に角田市長期総合計画条例を制定した。その条例に基づき議決事件として令和4年2月に基本構想を議案として提出し、可決との経過となった。



スポーツツーリズムとかくだスポーツビレッジについて

星隆悦



議員▼スポーツツーリズムとは、「スポーツの参加や観戦を目的に旅行し、地域の観光資源と結びつける新しい観光スタイルである。スポーツツーリズムは、単にスポーツを楽しむだけでなく、「楽しむ」「観る」「支える」といった活動を通じて旅行者が地域を訪れ、宿泊や飲食、文化体験などを伴う旅行形態を指す。世界観光機関（UNWTO）によると、スポーツ活動への参加や観戦を主な動機として、日常生活圏を離れて行う旅行およびその滞在がスポーツツーリズムに該当する。」と定義されている。

角田市には県内有数のスポーツ施設があり、スポーツツーリズムの環境が整っており潜在的ポテンシャルがあると思う。角田市第6次長期総合計画令和7年度実施計画書109ページ「角田中央公園管理事業」について、年度ごとの事業内容と実施計画額の詳細を問う。

議員▼かくだスポーツビレッジの担当課は生涯学習課だが、本来スポーツ振興を所管しており、経済効果をもたらす「スポーツツーリズム」は所管外だと思う。商工観光課に専門職員を配置したらと思うが、見解を問う。



（仮称）角田市終活支援条例の制定について

八島定雄



議員▼終活支援についてどんな事をこれまで実施してきたか。

市長▼終活に関する理解を深めることを目的に、終活セミナー講座を令和6年度・7年度と続けて開催。高齢者の方が終活を行う手助けとなるエンディングノート「角田市未来ノート」を令和6年度から無料配布し、その書き方についての出前講座を行うなど普及啓発に努めてきた。

議員▼今後の課題をどのように考えているか。



令和8年度から実施する空家等対策事業について

戸村 眞喜夫



議員▼本市の令和8年度予算に空家等対策事業が計上され、本格的に取り組み方向性が示されたことは、市民の安全・安心

の結果により令和9年度に空家等対策計画を策定する。また、それぞれの業務をコンサルタント会社に委託する予定である。

協力体制・予防的措置の制度化・協議会設置の根拠・活用促進の明文化

議員▼令和8年度診療報酬改定は、全体で2.22%のプラス改定だが、賃上げ分の比重が大きい

市長▼20歳から70歳までの女性に対して、5歳刻みで一部公費負担にて助成制度を設けている。

が必要。国の交付金を活用する必要があり申請も工事の前年度となるため



地域の医療・介護について

齋藤 強



第435回臨時会

1月27日、1日の会期で行われた臨時会では、次の議案について審議し、全会一致で可決しました。

角田市一般会計補正予算(第8号)

全市民を対象に一人当たり5千円の商品券を配布する経費等について、歳入歳出予算それぞれ4億1612万円を追加するもの。

角田市防災行政無線システム整備工事請負契約の変更

支柱型の防災スピーカーを設置するにあたり、地盤改良対策が必要となる工事を追加するもの。

ライブ・録画配信をやっています

インターネットを利用してパソコン・スマートフォン・タブレット端末でライブ中継がご覧になれます。

また、インターネットによる録画中継の配信も行っています。



第435回臨時会・第436回定例会

傍聴者数 3人

インターネットライブ 延べ413人

インターネット録画中継視聴者数 1月～3月 延べ2403人

議員研修会

交通安全講習会・新年度予算説明会

2月6日、角田警察署より講師をお招きし開催した交通安全講習会では、令和8年4月から適用される青切符(交通違反通告制度)導入による指導取り締まりなどについて説明をいただきました。



議会だよりモニター委嘱状交付式

読みやすく、わかりやすい紙面を目指して

かくだ市議会だよりは、定例会や臨時会の審議内容や議会の活動状況をお知らせし、市民の皆さまが「議会と市政」について身近に感じていただくことを目的に発行しております。



議会日誌

- 1月 第435回臨時会招集告示
2月 議会だより第235号発行
3月 予算審査特別委員会(第2日)
4月 議会だよりモニター委嘱状交付式

# 行政視察報告

委員会の所管する課題について先進自治体の事業を調査・研究するため、視察を行いました。

## 教育厚生建設常任委員会

視察期間 令和8月13日(火)～15日(木)  
茨城県牛久市

「空き地及び特定空き家等の対策について」

牛久市は、平成24年に「牛久市空家等の適正管理及び有効活用に関する条例」を制定後、平成29年に「第1次牛久市空家等対策計画書」(令和4年に第2次)を策定している。平成29年8月より空家バンクの運用が始まった。令和6年には条例を全部改正し「牛久市空家等の適正管理及び活用促進に関する条例」を制定し、対策の見直しに取り組んでいる。

角田市の空き家の現状は、令和5年住宅・土地統計調査によると、居住戸数1万2,510戸のうち空き家が2,200戸(17.6%)、長期不在や取り壊し予定の空き家が1,100戸(8.8%)あり、その対策が急務となっている。そのため、専門部署の設置、条例の制定や空家等対策計画書の策定などを早急に実施し、市民からの相談機能を充実させ、速やかに対策を実施することが必要である。牛久市の取り組みを参考とし、空家等対策について提言していく。



教育厚生建設常任委員会では、茨城県常総市「上水道の有収率向上への取り組みについて」(写真左)、茨城県つくばみらい市「富士見ヶ丘小学校の体育館への空調設備の導入について」(写真右)についても行政視察を行っています。

## 総務産業常任委員会

視察期間 令和8月2月3日(火)～5日(木)  
徳島県海陽町

「DMVを活かしたまちづくりについて」ほか

DMV(Dual Mode Vehicle:鉄道と道路を走行できる車両)を営業運行する阿佐海岸鉄道株式会社は、鉄道阿佐東線の第三セクターとして昭和63年に設立、その後、地域の過疎化で経営難が続いたが、改善策として阿佐東線DMV導入協議会を発足させ、令和3年に営業運転を開始した。

DMV導入のメリットは、世界初の本格営業運行の話題性と車両自体が観光資源となる「地域活性化」、燃費が良く、また、高齢化が進む地域に適した鉄道とバスの交通体系構築による「地域公共交通の維持・充実」、大規模災害(南海トラフ巨大地震)発生時に残った線路で交通機能が維持できるなどの「防災面の強化」がある。

新規に取り組む姿勢と観光資源のPR活動にかける情熱は大いに参考とすべきで、若い世代の移住が推進される政策を早急に検討していく。



徳島県阿南市「野球のまち推進事業について」(写真右)、高知県高知市「中心市街活性化基本計画について」(写真左)についても行政視察を行っています。

## 編集後記

はじめに、議会だよりモニターの皆様応募ありがとうございました。2年間宜しく願い致します。

今月号より表紙の字体(フォント)を変更してみました。表紙に使用するフォントは、視認性が高く、印象に残るデザイン性を持つものを選ぶことが重要で遠くからでも読みやすいことが求められ、太めでコントラストが強いフォントが理想的とのことです。フォントはその印象を大きく左右し、例えば、明朝体は優雅で格式高いイメージを与え、ゴシック体はモダンでスタイリッシュな雰囲気を演出します。読者の皆様いかがでしょうか。

議会だより編集会議

委員 瀧口 聖人

## 6月定例会の予定 会期6月5日(金)～6月22日(月)

日	月	火	水	木	金	土
					6/5 提案理由説明	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 常任委員会	16 質疑・自由討議	17 常任委員会	18 討論・表決・ 一般質問	19 一般質問	20
21	22 最終日	23	24	25	26	27

※太字はライブ配信(生中継)を行います。

※日程は変更になる場合があります。